



唐津市
(肥前名護屋城跡)

東松浦半島のほぼ先端に位置する肥前名護屋。
かつてそこには、日本史上例を見ない20万人規
模の巨大な城下町がありました。



肥前名護屋城図屏風 (佐賀県重要文化財) 狩野派の絵師狩野光信の作。

肥前名護屋に忽然と現れた20万人の軍事都市

天下統一を成し遂げた豊臣秀吉は、明へ侵攻の野望を抱きました。その足掛かりとして、二度の朝鮮出兵を行いました。その際、拠点として選んだのが、肥前名護屋でした。肥前名護屋城は、秀吉の命により黒田孝高(如水)の設計で、加藤清正、小西行長らをは

調べてみよう
どうしてこの場所に
城を築いたのだろう？



(佐賀県立名護屋城博物館提供)

豊臣秀吉画像 (桃山〜江戸時代初期) 晩年の肖像画です。

COLUMN

こんなところに豊臣秀吉伝説

1

名護屋橋

佐賀市嘉瀬川の名護屋橋はかつて豊臣秀吉が通過したと言われています。

朝鮮出兵のため軍を率いた秀吉がこの地にやってきたところ、川が氾濫しており通過が困難でした。その際、鍋島直茂は急いで船で浮橋を作って秀吉軍を渡河させました。その後、何度も作りなおされましたが、この橋は今でも名護屋橋の名で呼ばれています。

じめとする九州の大名たちが分担して工事を行い、それまでの日本史上例を見ない、わずか5か月という短い期間で完成したと言われています。完成と同時に、全国から約160の諸大名が集められ、当時の大坂城に次ぐ広大な規模の城郭が築られました。

わずか7年で消えた天下人の城下町

城下町には、商人が次々に生活物資をもたらし、肥前名護屋には全国

から20万人が集ったとされています。当時の様子を表したのが「ひぜんなごやじょうすひょうぶ肥前名護屋城図屏風」です。加部島から名護屋城方面を望んだもので、名護屋城や陣屋の様子をはじめ、名護屋城下の暮らしぶりも細かに描かれています。しかし、1598(慶長3)年、秀吉の死後、城としての機能はなくなり、江戸初期には一揆に使われないよう城自体が破却され、城下町はもとの静かな漁村へと戻りました。

陣屋の位置と大きさから見える?! 大名の力関係

名護屋城を中心に、半径約3kmの範囲に諸大名が次々に陣屋を築きます。その数は約130にも及びます。くろだながまさ黒田長政、加藤清正をはじめ、とくがわいやす いしだ みつなり だてまさむね徳川家康、石田三成、伊達政宗、さなだまさゆき真田昌幸など、全国の大名が名護屋に集結しました。陣屋の配置や大きさから、それぞれの大名が持つ力や秀吉との関係をうかがい知ることができます。



なごやおび
名護屋帯(復元) (佐賀県立名護屋城博物館寄託)

名護屋城下で売られた紐帯。名護屋土産として、全国的に人気が広がりました。

COLUMN

こんなところに豊臣秀吉伝説 2

広沢寺のソテツ

名護屋城の一角にある広沢寺に、加藤清正が朝鮮から持ち帰り、秀吉が手植えしたと伝えられるソテツがあります。国の天然記念物に指定されています。



(唐津市教育委員会提供)



名護屋城跡・陣跡配置図 半径3kmに約130の陣跡が点在しています。

(佐賀県立名護屋城博物館提供)



天守台
かつて、この場所に5層7階の20mを超える天守閣が建っていました。
(佐賀県立名護屋城博物館提供)

COLUMN

こんなところに豊臣秀吉伝説 **3**

呼子の綱引き

秀吉が兵を鼓舞するため、加藤清正と福島正則の陣営を東西に分け、軍船の綱を引かせたことから始まったと伝える伝統の祭りです。



(唐津市呼子センター屋敷提供)



(佐賀県立名護屋城博物館提供)
能装束 (現代のもの)
能に興味があった秀吉は、有名な能役者を名護屋まで呼び寄せました。



黄金の茶室 (再現CG)
至る所に黄金が使われた茶室です。組み立て式で、運搬が可能でした。
(佐賀県立名護屋城博物館提供)



豊臣秀吉自筆書状 (1593(文禄2)年/佐賀県重要文化財)
北政所宛に書いた手紙。能の稽古をしていることなども記されています。
(佐賀県立名護屋城博物館提供)

陣跡から、建築様式や当時の暮らしを知ろう

諸大名の陣跡からは、能舞台や茶室、庭園の跡が発見されました。それぞれの陣屋で趣向を凝らした様子がうかがえます。井戸跡や廁(トイレ)の跡もあり、当時の暮らしがわかる貴重な資料となっています。建物跡など、遺構が良好な状態で残っているものが多く、1955(昭和30)年「名

護屋城跡並びに陣跡」は国の特別史跡に指定されました。

肥前名護屋に花開いた桃山文化

秀吉は、名護屋城に入城する際に、黄金の茶室や多くの茶道具を運び、城内や大名の陣屋で連日茶会を開きました。能舞台や茶室の跡があったことから、能や連歌など、華やかな文化も盛んであったことが見てとれます。

学校の取組

【日韓交流史】

佐賀県立唐津青翔高等学校
環境文化系列
名護屋城の城下探索、発掘体験などの体験型授業をして名護屋城について学んでいます。



調べて書いてみよう!

あなたが知っている武将は誰ですか。調べて書いてみましょう。



出かけてみよう!



(設計・監修・西和夫・アルセッド建築研究所)

佐賀県立名護屋城博物館

文禄・慶長の役の不幸な歴史を踏まえ、「日本列島と朝鮮半島との交流史」を主題にした博物館。特別史跡「名護屋城跡並びに陣跡」を中心に、「肥前名護屋城図屏風」や「城と城下町模型」などの資料を常設展示しています。
TEL 0955-82-4905 / 休館日 月曜日 / 開館 9:00~17:00
(佐賀県観光連盟提供)

バーチャル名護屋城

専用アプリをスマートフォンやタブレットにダウンロードすることで、当時の名護屋城をリアルタイムで体験できます。ゲーム感覚で歴史が学べるクイズや名護屋城を描いた屏風絵の中にGPSで現在地が表示されるなど、機能が充実しています。地元ガイドと一緒に城跡を巡る「バーチャル名護屋城ガイドツアー」もあります。
※名護屋城博物館でスマートデバイス(iPad mini)の貸し出し(無料)も行っているため、借りてみましょう!



検索してみよう!

文禄・慶長の役

秀吉 名護屋城

